



MESSAGE NOTES

ブレずに、しかも柔軟に
ピリピ人への手紙 2:3
ロイド フラハティ

私達が何かを計画するとき、焦点がブレないことと柔軟さのバランスが必要です。

1. 焦点を合わせる（ブレない）

対面での礼拝を再開するタイミングはそれぞれの教会異なります。私達の焦点はどこにあるのでしょうか。

正しい態度がピリピ人への手紙に記されています。

ピリピ人への手紙 2章3節

何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。

キリストが私達を愛してくださったように周りの人を愛していこうとする時に、利己的な思いや虚栄の入る余地はありません。私達はお互いの愛に基づいて行動する必要があります。利己的な思いに焦点を置くのではなく、自分よりも他の人のことを大切にすることに焦点をおきましょう。

2. 柔軟でいる

私達が混乱の中にいる時、柔軟でいる必要があります。人の知恵というのは限界があります。

自分の失敗をすぐに直視し、自分のプライドよりも他の人のことを思いやることのできるリーダーは知恵と祝福の中で人を導くことができるでしょう。

ビジネス上のリーダーや父親、母親、あるいはチームのキャプテンでも同じことです。自分の歩んでいる道が行き止まりになる時、私達は方向を変えなければいけなくなります。

3. 気をつけよう

自分たちの成功が傲慢なプライドに変わってしまわないように気をつけましょう。

今日のみ言葉をもう一度見てみましょう。

ピリピ人への手紙 2章3節

何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。

ゴールラインを踏み越える前に勝利を叫ばないで。感謝し、謙遜でいましょう。

KBF のフェイスブックページやホームページで情報の更新をチェックしてください。
また来週オンライン礼拝で会いましょう。